

## Y12b 関西から発信する学生の宇宙教育

川上恭子(神戸大) 荻原文恵(和歌山大) Kansai Space Explores

KSE (Kansai Space Explores) は、文系理系を問わず、宇宙に対して夢を抱く学生たちが学校・年齢の枠を超えて集まった関西初の学生宇宙団体であり、関西にある11の大学から、学部1年生~修士2年生の約40名が集まって構成されている。我々の活動は次の2点に軸をおいており、1点目は「ものづくり、勉強会、施設訪問などを通じて、メンバーを育成する内部向けの活動」2点目は「多くの一般の人に宇宙を身近に感じてもらうことを目標にした外部向けの活動」である。

最近行っているものづくりの活動としては、東大阪市を中心とした中小企業と連携し、ハイテク水ロケット及び模擬衛星の製作などを行っている。また、一般の人に向けての活動としては、まず、毎月1回行っている小学生への宇宙授業がある。その宇宙授業ではKSEの担当者が約1時間の講義をした後、子供たちが企画、司会を担当する実験を約30分間行う。これらを毎月継続していることで、子供たちは宇宙だけに限らず理科に対する知識を身につけ、さらに、興味をもって自ら楽しんで学ぶという姿勢が見られるようになった。

それだけではなく、2005年8月には日本機械学会と共催でロケット教室を行うなど3回の水ロケット教室を開催し、合計で300名以上が水ロケットを製作し、打ち上げを体験した。9月には宇宙に関するパネルを独自に作成し、特別展を大阪市立科学館にて開催したり、11月には同科学館でのイベントで来館者に対して惑星模型の工作教室をするなど、自らが公共の場に出向いて活発な活動を展開している。これらの企画を通して、多くの人に宇宙を身近に感じる機会を提供してきた。

本会を通して、KSEの活動を多くの方に知ってもらいたいと願っている。